

経営比較分析表

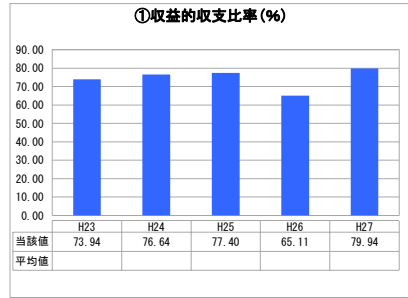
佐賀県 鳥栖市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	1.88	89.82	2,430

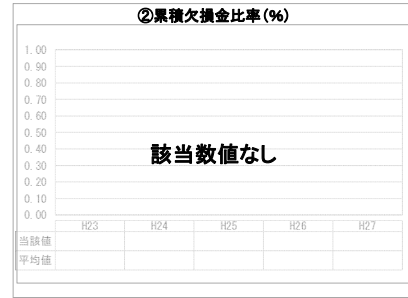
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
72,266	71.72	1,007.61
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,358	0.72	1,886.11

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
□	平成27年度全国平均

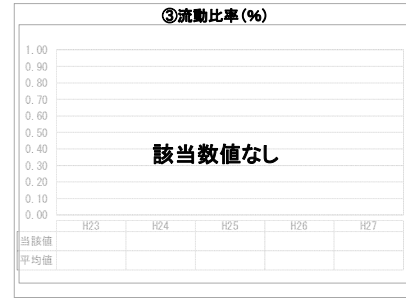
1. 経営の健全性・効率性



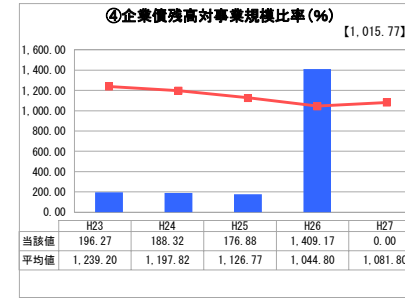
「単年度の収支」



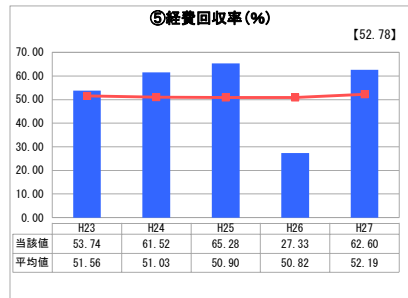
「累積欠損」



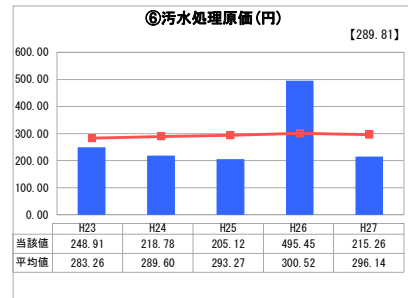
「支払能力」



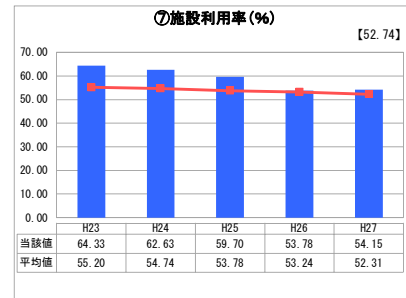
「債務残高」



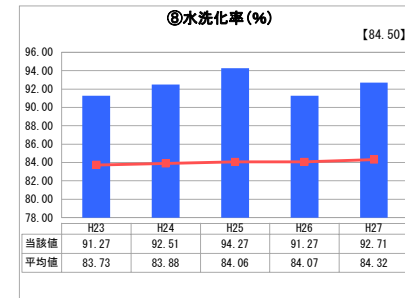
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

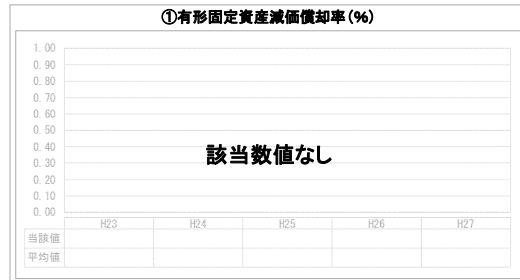


「施設の効率性」

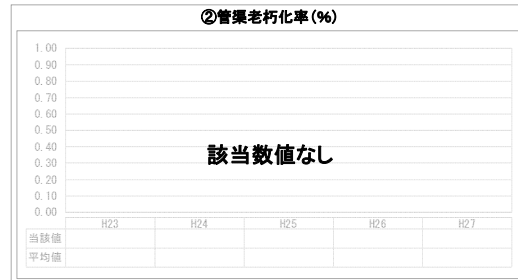


「使用料対象の捕捉」

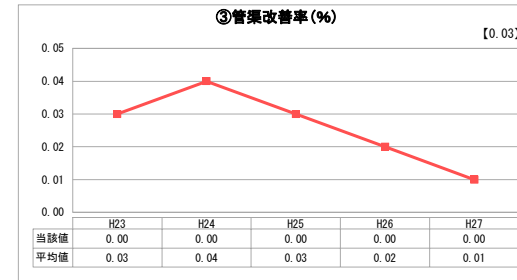
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率については、単年度の収支は赤字が続いており、経費回収率についても料金収入だけではまかなえていない現状です。
なお、平成26年度に収益的収支比率が大幅に低下していますが、これは平成25年度に5地区中2地区を公共下水道へ移管したことにより、地方債の繰上償還を行ったことが原因となっています。

2. 老朽化の状況について

現時点では、老朽化率は0%となっています。今後平成31年度までに全ての農業集落排水施設を公共下水道へ接続・移管する予定です。
そのため、今後は事業に支障がないように維持管理を行っていくこととなります。

全体総括

現在、3地区で行っている農業集落排水事業については、経営の効率化を図るため、今後全ての地区について公共下水道へ接続し、公共下水道として事業を行っていく予定としています。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。